

平成26年度第1回宮城県医療介護総合確保事業計画策定懇話会 会議録

I 日 時 : 平成26年9月22日(月) 16:00~17:20

II 場 所 : 宮城県行政庁舎 第二会議室(11階)

III 次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 議 事

- (1) 座長の選出について
- (2) 地域における医療及び介護を総合的に確保するための仕組みについて
- (3) 平成26年度医療介護総合確保事業計画(案)について
- (4) その他

3 閉 会

(資料)

- ① 懇話会の設置根拠 (資料1)
- ② 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(概要) (資料2-1)
- ③ 地域における医療及び介護を総合的に確保するための仕組み (資料2-2)
- ④ 地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針 (資料2 参考)
- ⑤ 平成26年度「地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業の実施に関する計画」の策定について(案) (資料3)
- ⑥ 平成26年度都道府県計画策定に向けての基本方針(案) (資料4)
- ⑦ 国庫補助からの継続事業一覧 (資料4 参考)
- ⑧ 平成26年度都道府県計画に関する基金配分額の概要(事業区分別)(案) (資料5-1)
- ⑨ 平成26年度新たな財政支援制度を活用した事業提案一覧(事業区分別)(案) (資料5-2)
- ⑩ 平成26年度都道府県計画に関する基金配分額の概要(事業主体別)(案) (資料6-1)
- ⑪ 平成26年度新たな財政支援制度を活用した事業提案一覧(事業主体別)(案) (資料6-2)
- ⑫ 医療介護総合確保促進法に基づく宮城県計画(案) (資料7)

IV 出席者名簿

1. 委員（16人中13人出席）

（敬称略）

分野	氏名	所属・役職	備考
市町村長	阿部 秀保	宮城県市長会 （東松島市長）	出
	村上 英人	宮城県町村会副会長 （蔵王町長）	出
医療又は介護を受ける 立場にある者	郷内 淳子	患者発・宮城版退院時サポートプ ロジェクト代表	出
医療保険者	佐藤 昭	宮城県国民健康保険団体連合会理 事長（塩竈市長）	欠
	高橋 祥允	全国健康保険協会宮城支部長	出
医療機関	下瀬川 徹	東北大学病院長	出
	太田 耕造	大崎市民病院長	出
	青沼 孝徳	涌谷町町民医療福祉センター長	出
診療又は調剤に関する 学識経験者の団体その 他の関係団体	嘉数 研二	公益社団法人宮城県医師会長	出
	佐藤 和宏	公益社団法人宮城県医師会副会長	出
	細谷 仁憲	一般社団法人宮城県歯科医師会長	出
	佐々木 孝雄	一般社団法人宮城県薬剤師会長	欠
	佃 祥子	公益社団法人宮城県看護協会長	出
	道又 勇一	宮城県病院協会長	出
学識経験を有する者そ 他の関係者	大内 憲明	東北大学大学院医学系研究科長・ 医学部長	欠
	小坂 健	東北大学大学院歯学研究科副研究 科長	出

2. 事務局

氏名	役職名		
伊東 昭代	宮城県保健福祉部長		
佐々木 淳	同	技監兼次長（技術担当）	
吉田 直	同	医療整備課長	
大久保久美子	同	同	医療政策専門監
高橋 洋	同	同	副参事兼課長補佐（総括担当）
大森 秀和	同	同	課長補佐（総括担当）
鈴木 清英	同	同	課長補佐（企画推進班長）
松野 あやえ	同	同	技術補佐（看護班長）
佐藤 顕一	同	同	主幹（地域医療班長）

V 会議の概要

1. 事務局が開会を宣言した。
2. 伊東保健福祉部長のあいさつの後、事務局から各委員の紹介及び懇話会の概要説明を行った。
3. 議事の（1）座長の選出について、事務局案のとおり嘉数研二委員が座長に選出された。
4. 嘉数研二委員が座長就任のあいさつを行い、宮城県医療介護総合確保事業計画策定懇話会第4第2項の規定により議長となった。
5. 議事の（2）地域における医療及び介護を総合的に確保するための仕組みについて、事務局が説明を行った後、質疑応答が行われた。
6. 議事の（3）平成26年度医療介護総合確保事業計画（案）について、事務局が説明を行った後、事務局案への意見聴取を行い、懇話会を終了した。

VI 会議運営に関する報告・確認事項等

1. 会議の公開・非公開の確認
議事の公開を確認した。

VII 議事録（発言要旨）

高橋副参事	議事の1番、座長の選出について、事務局から説明を行う。
吉田課長	事務局としては、都道府県計画との関連の深い医療計画を所管する宮城県医療審議会をはじめ、各種協議会・委員会で会長・委員長をお務めいただいている嘉数研二委員に、当懇話会の座長をお引き受けいただきたい。
高橋副参事	ただいま事務局から嘉数研二委員にお願いしたいという案が示されたが、御意見は。 (意見・異議なし)
高橋副参事	御異議がないようなので、嘉数研二委員が座長に選出された。就任の御挨拶をいただきたい。
嘉数座長	本懇話会は、地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業計画に対し意見を述べる場である。皆様の意見をできるだけ汲み上げながら適正な議事運営を行っていきたいので、御協力をよろしくお願ひしたい。
嘉数座長	それでは、議事の2番、地域における医療及び介護を総合的に確保するための仕組みについて、事務局から説明願う。
鈴木課長補佐	(資料2に基づき説明)
嘉数座長	ただいまの説明に、質問はないか。
青沼委員	今年度は医療が対象とのことだが、介護が対象になるのはいつからか。 医療と介護、両方を併せて議論することが大事だと思う。それぞれ別々に議論していると、今までの進め方と同じになるとの懸念がある。
吉田課長	医療と介護の提供体制を一緒に整備していくということが、今回の法律改正の趣旨である。国の方針により医療分野は今年度から、介護分野は来年度からのスタートとする。今回、医療が先行してスタートするため、医療分野のセクションのみで対応しているが、来年度以降は、介護分野のセクションと協調し、一体となって対応していくことになる。
高橋委員	総合確保方針の12ページに「目標の設定」という項目があり、その中で「データに基づく地域の医療・介護ニーズや医療・介護資源に関する現状分析、将来予測

	<p>等を行い、医療及び介護の総合的な確保に関する目標を設定するものとする。」との記述がある。皆様御存知のとおり、協会健保は、宮城県における各地域のデータを豊富に保有している。当協会が保有する基本データについては、要望があれば提供することもできるので、是非御活用いただきたい。</p> <p>それから、11ページに「関係者の意見を反映させる仕組みの整備」という項目があるが、我々にとっては大変ありがたい項目である。当保険は、県内の約3分の1の方が加入者であり、それも全地域に渡っている。積極的に意見を出していきたい。</p>
嘉数座長	<p>高橋委員からの御意見として承りたい。</p> <p>他に質問はないか。</p> <p>(質問なし)</p>
嘉数座長	<p>次に、議事の3番、平成26年度医療介護総合確保事業計画(案)について、事務局から説明願う。</p>
鈴木課長補佐	<p>(資料3～7に基づき説明)</p>
嘉数座長	<p>ただいまの説明に、質問・意見はないか。</p>
阿部委員	<p>今回示された配分案は、どのようなプロセスを経てまとめられたのか。</p>
吉田課長	<p>これまでの経過は資料3に詳しく記載しているが、予備調査の実施、事業提案の募集を行い、そして国のヒアリングも受けた。国の予算に対し、都道府県からの要望がかなり超過しているという状況が伝えられていたので、資料4の基本方針を実務的に設定し、個別の事業に対する精査を行ってきた。</p> <p>今後は、本日の懇話会で了承をいただければ、案を国に提出したい。その後の国とのやりとりも想定されるが、その過程を通じて、計画をさらにブラッシュアップしていきたい。県予算は、11月議会での計上を予定している。</p>
嘉数座長	<p>他に質問・意見はないか。</p> <p>(質問・意見なし)</p>
嘉数座長	<p>なければ、本日出された意見も踏まえつつ、計画案を国に提出願う。</p> <p>なお、今後、国からの交付金内示額に応じた事業費の調整や、計画書本文の文言修正が必要になった場合は、座長一任でよろしいか。</p>

	(異議なし)
嘉数座長	不測の事態により大幅な変更を要する場合には、皆様に、書面での意見照会を行う場合もあるので、その際はよろしく願います。
嘉数座長	その他、各委員から何かあるか。
青沼委員	認知症の問題は、医療と介護の関連が強く、また、住まいとの関連が大きい。それから、医療の面や介護の面だけではなかなか解決できない部分がある。多職種が協働して関わらないと高齢者の認知症には対応できないと思う。是非、力を入れて議論する場を作っていただければありがたい。
吉田課長	本年度、地域包括ケア推進協議会の準備委員会を開催した。今年度は準備委員会だが、来年度からは協議会という形で、より幅広く医療と介護の問題に対応していくことを考えている。その中で、今御指摘のあったとおり、医療と介護ばかりではなく、住まいなども含めた生活支援についても考慮し、専門委員会を組織して本年度議論しているところである。それらの場に出された意見も、基金の使い方だけでなく反映できるようにしたいと考えている。
小坂委員	国は毎年計画を出せ、目標を出せということだが、毎年目標値を出すためのデータ把握の部分は、病床機能報告制度はあるが、それ以外の部分は、なかなか把握できる体制にはなっていないのではないかと思う。その点を、県で充実させることができれば、計画を立てやすくなるのではないか。
吉田課長	医療分野については今年度から病床機能報告制度がスタートするが、介護分野との擦り合わせが必要ということは、御指摘のとおりだと思う。この部分を勉強し、より実証的なデータに基づいた、効果的な計画になるよう努めていきたい。
嘉数座長	他に何かないか。
	(なし)
嘉数座長	以上で本日の議事を終了する。